

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成30年12月6日 (2018.12.6)

【公表番号】特表2018-510410(P2018-510410A)  
 【公表日】平成30年4月12日 (2018.4.12)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-014  
 【出願番号】特願2017-542458(P2017-542458)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/30 2 1 0 D

G 0 6 F 17/30 1 7 0 A

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

【手続補正書】  
 【提出日】平成30年10月23日 (2018.10.23)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

住所テキストを処理する方法であって、

サービスシステム内の利用者の社会的関係サークルに従って少なくとも 1 つの住所集合を決定することであって、前記少なくとも 1 つの住所集合の各住所集合は少なくとも 2 つのオリジナル住所テキストを含む、決定すること、及び

前記住所集合に対応する目的住所テキストを得るために、前記住所集合内のオリジナル住所テキストに対して正規化を住所集合ごとに行うことを含む、方法。

【請求項 2】

サービスシステム内の利用者の社会的関係サークルに従って少なくとも 1 つの住所集合を決定することが、

前記サービスシステム内の利用者の社会的関係サークルを決定すること、及び

前記利用者が使用する住所テキスト及び前記社会的関係サークル内の利用者が使用する住所テキストを取得して住所集合を構成することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記住所集合に対応する目的住所テキストを得るために、前記住所集合内のオリジナル住所テキストに対して正規化を実行することが、

前記住所集合内の 2 つのオリジナル住所テキストそれぞれの特徴に従って、前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定すること、及び

前記住所集合に対応する目的住所テキストを得るために、前記 2 つのオリジナル住所テキストが前記 2 つのオリジナル住所テキストのうちの 1 つに正規化され得るかどうかを、前記類似度に従って判定することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記住所集合内の 2 つのオリジナル住所テキストそれぞれの特徴に従って、前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定することが、

前記 2 つのオリジナル住所テキストそれぞれの標準的断片特徴、経度及び緯度の特徴、又は英数字の特徴のうち少なくとも 1 つを抽出すること、及び

前記抽出された特徴に対応する前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を、抽出された特徴それぞれに従って決定することを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記特徴に対応する前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を、抽出された特徴それぞれに従って決定することは、

前記抽出された特徴が標準的断片特徴であることに応じて、SimHash アルゴリズムを使用することによって、標準的断片特徴の次元上での前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定すること、

前記抽出された特徴が経度及び緯度の特徴であることに応じて、経度 / 緯度距離アルゴリズムを使用することによって、経度及び緯度の特徴の次元上での前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定すること、及び

前記抽出された特徴が英数字の特徴であることに応じて、ジャカード係数アルゴリズムを使用することによって、英数字の特徴の次元上での前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定すること

を含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

目的住所テキストとオリジナル住所テキストとの間の対応関係に従い、同じオリジナル住所テキストに対応する少なくとも 2 つの目的住所テキストを決定すること、及び

前記少なくとも 2 つの目的住所テキストに対して正規化を行うことを更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記少なくとも 2 つの目的住所テキストに対して正規化を行うことが、

前記少なくとも 2 つの目的住所テキストにそれぞれ対応するオリジナル住所テキスト内に含まれる標準的な住所の断片の断片共通集合を取得すること、及び

前記少なくとも 2 つの目的住所テキストに対する正規化を前記断片共通集合に従って行うこと

を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記少なくとも 2 つの目的住所テキストに対する正規化を前記断片共通集合に従って行うことが、

前記断片共通集合が、前記少なくとも 2 つの目的住所テキストのうちの 1 つを表すことに応じて、前記少なくとも 2 つの目的住所テキストを、前記断片共通集合が表す前記目的住所テキストへ正規化すること

を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記断片共通集合及び前記断片共通集合が表す前記目的住所テキストを特徴知識ベース内に記憶すること

を更に含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

住所テキスト処理機器であって、

サービスシステム内の利用者の社会的関係サークルに従って少なくとも 1 つの住所集合を決定するように構成される決定モジュールであって、前記少なくとも 1 つの住所集合の各住所集合は少なくとも 2 つのオリジナル住所テキストを含む、決定モジュールと、

前記住所集合に対応する目的住所テキストを得るために、前記住所集合内のオリジナル住所テキストに対して正規化を住所集合ごとに行うように構成される正規化モジュールと

を含む、機器。

## 【請求項 1 1】

前記決定モジュールが、  
前記サービスシステム内の利用者の社会的関係サークルを決定し、  
前記利用者が使用する住所テキスト及び前記社会的関係サークル内の利用者が使用する住所テキストを取得して住所集合を構成する  
ように更に構成される、請求項 1 0 に記載の機器。

## 【請求項 1 2】

前記正規化モジュールが、  
前記住所集合内の個々の 2 つのオリジナル住所テキストの特徴に従って前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定し、  
前記住所集合に対応する目的住所テキストを得るために、前記 2 つのオリジナル住所テキストが前記 2 つのオリジナル住所テキストのうちの 1 つに正規化され得るかどうかを、  
前記類似度に従って判定する  
ように更に構成される、請求項 1 0 に記載の機器。

## 【請求項 1 3】

前記正規化モジュールが、  
前記 2 つのオリジナル住所テキストの標準的断片特徴、経度及び緯度の特徴、又は英数字の特徴のうちの少なくとも 1 つを抽出し、  
前記抽出された特徴に対応する前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を、抽出された特徴それぞれに従って決定する  
ように更に構成される、請求項 1 2 に記載の機器。

## 【請求項 1 4】

前記正規化モジュールは、  
前記抽出された特徴が標準的断片特徴である場合、SimHash アルゴリズムを使用することによって、標準的断片特徴の次元上での前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定し、  
前記抽出された特徴が経度及び緯度の特徴である場合、経度 / 緯度距離アルゴリズムを使用することによって、経度及び緯度の特徴の次元上での前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定し、  
前記特徴が英数字の特徴である場合、ジャカード係数アルゴリズムを使用することによって、英数字の特徴の次元上での前記 2 つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定する  
ように更に構成される、請求項 1 3 に記載の機器。

## 【請求項 1 5】

前記決定モジュールは、目的住所テキストとオリジナル住所テキストとの間の対応関係に従い、同じオリジナル住所テキストに対応する少なくとも 2 つの目的住所テキストを決定するように更に構成され、  
前記正規化モジュールは、前記少なくとも 2 つの目的住所テキストに対して正規化を行うように更に構成される、  
請求項 1 0 に記載の機器。

## 【請求項 1 6】

前記正規化モジュールが、  
前記少なくとも 2 つの目的住所テキストにそれぞれ対応するオリジナル住所テキスト内に含まれる標準的な住所の断片の断片共通集合を取得し、  
前記少なくとも 2 つの目的住所テキストに対する正規化を前記断片共通集合に従って行う  
ように更に構成される、請求項 1 5 に記載の機器。

## 【請求項 1 7】

前記少なくとも 2 つの目的住所テキストのうちの 1 つを前記断片共通集合が表す場合、前記断片共通集合及び前記断片共通集合が表す前記目的住所テキストを記憶するように構

成される特徴知識ベースを更に含む、請求項 16 に記載の機器。

【請求項 18】

命令のセットを格納する非一時的コンピュータ可読媒体であって、前記命令のセットは、住所テキスト処理機器に、住所テキストを処理する方法を行わせるように、前記住所テキスト処理機器の少なくとも一つのプロセッサによって実行可能であり、前記方法が、サービスシステム内の利用者の社会的関係サークルに従って少なくとも一つの住所集合を決定することであって、前記少なくとも一つの住所集合の各住所集合は少なくとも二つのオリジナル住所テキストを含む、決定すること、及び前記住所集合に対応する目的住所テキストを得るために、前記住所集合内のオリジナル住所テキストに対して正規化を住所集合ごとに実行することを含む、非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 19】

サービスシステム内の利用者の社会的関係サークルに従って少なくとも一つの住所集合を決定することが、前記サービスシステム内の利用者の社会的関係サークルを決定すること、及び前記利用者が使用する住所テキスト及び前記社会的関係サークル内の利用者が使用する住所テキストを取得して住所集合を構成することを含む、請求項 18 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 20】

前記住所集合に対応する目的住所テキストを得るために、前記住所集合内のオリジナル住所テキストに対して正規化を実行することが、前記住所集合内の二つのオリジナル住所テキストそれぞれの特徴に従って、前記二つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定すること、及び前記住所集合に対応する目的住所テキストを得るために、前記二つのオリジナル住所テキストが前記二つのオリジナル住所テキストのうちの一つに正規化され得るかどうかを、前記類似度に従って判定することを含む、請求項 18 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 21】

前記住所集合内の二つのオリジナル住所テキストそれぞれの特徴に従って、前記二つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定することが、前記二つのオリジナル住所テキストそれぞれの特徴的断片特徴、経度及び緯度の特徴、又は英数字の特徴のうちの少なくとも一つを抽出すること、及び前記特徴に対応する前記二つのオリジナル住所テキスト間の類似度を、抽出された特徴それぞれに従って決定することを含む、請求項 20 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 22】

前記特徴に対応する前記二つのオリジナル住所テキスト間の類似度を、抽出された特徴それぞれに従って決定することは、前記抽出された特徴が特徴的断片特徴であることに応じて、SimHashアルゴリズムを使用することによって、特徴的断片特徴の次元上での前記二つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定すること、前記抽出された特徴が経度及び緯度の特徴であることに応じて、経度／緯度距離アルゴリズムを使用することによって、経度及び緯度の特徴の次元上での前記二つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定すること、及び前記抽出された特徴が英数字の特徴であることに応じて、ジャカード係数アルゴリズムを使用することによって、英数字の特徴の次元上での前記二つのオリジナル住所テキスト間の類似度を決定することを含む、請求項 21 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 23】

前記命令のセットは、

目的住所テキストとオリジナル住所テキストとの間の対応関係に従い、同じオリジナル住所テキストに対応する少なくとも2つの目的住所テキストを決定すること、及び

前記少なくとも2つの目的住所テキストに対して正規化を行うこと  
を前記住所テキスト処理機器が更に行うように、前記住所テキスト処理機器の前記少なくとも一つのプロセッサによって実行可能である、請求項18に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

**【請求項24】**

前記少なくとも2つの目的住所テキストに対して正規化を行うことが、  
前記少なくとも2つの目的住所テキストにそれぞれ対応するオリジナル住所テキスト内に含まれる標準的な住所の断片の断片共通集合を取得すること、及び  
前記少なくとも2つの目的住所テキストに対する正規化を前記断片共通集合に従って行うこと  
を含む、請求項23に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

**【請求項25】**

前記少なくとも2つの目的住所テキストに対する正規化を前記断片共通集合に従って行うことが、  
前記断片共通集合が、前記少なくとも2つの目的住所テキストのうちの1つを表すことに応じて、前記少なくとも2つの目的住所テキストを、前記断片共通集合が表す前記目的住所テキストへ正規化すること  
を含む、請求項24に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

**【請求項26】**

前記命令のセットは、  
前記断片共通集合及び前記断片共通集合が表す前記目的住所テキストを特徴知識ベース内に記憶すること  
を前記住所テキスト処理機器が更に行うように、前記住所テキスト処理機器の前記少なくとも一つのプロセッサによって実行可能である、請求項25に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。